

# 第68期 決算のご報告

平成21年4月1日 ~ 平成22年3月31日



株式会社 **ナカノフード建設**

証券コード：1827

# 社長 ごあいさつ

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
「第68期 決算のご報告」をお届けするにあたり、皆様の日頃のご支援に心より御礼申し上げます。

当期の当社グループを取り巻く経済環境は、長引く景気低迷から一部改善の兆しが見えたものの、民間企業における設備投資の低迷や政府の政策転換に伴い、国内建設需要の縮小傾向が顕著に表れるなど、大変厳しい環境でありました。

このような状況の中、当社グループは、最終年度を迎えた中期経営計画の達成に向け、着実に課題を乗り越え、その目標とする経営指標である優先株式28億円の全額償還、借入金残高100億円以内、海外建設売上200億円以上、配当3円以上を達成することができました。これもひとえに株主の皆様方のご支援の賜物であると感謝いたしております。

今後も厳しい経営環境が続くものと予想されますが、当社グループは、本業である国内建設事業と海外建設事業の両輪で安定した収益基盤を構築し、強い競争力と体力ある企業を目指して参ります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年6月

取締役社長 **浅井 晶**



## 当期業績概況

当連結会計年度のわが国経済は、景気低迷基調から一部改善の兆しが見えたものの、デフレや円高傾向が続き、企業収益の大幅な回復に至らず、雇用不安や所得不安が顕在化するなど、実体経済の自律的回復が未だ予見できない厳しい環境となりました。

建設業界におきましては、民間企業における設備投資の低迷が長引き、公共工事においても公共投資から社会福祉重視へ政策転換したことなど、国内建設需要の縮小傾向が顕著に表れ、大

変厳しい受注環境となりました。

このような状況の中、当社グループは、中期経営計画最終年度として、その達成のため経営基盤の安定化を図ることが重要な課題であると認識し、営業力の強化を推進すると共に、リスク管理の徹底を行い、工事採算の向上と財務体質の強化を図ってまいりました。

その結果、当連結会計年度の業績は以下のとおりとなりました。

売上高は、建設事業1,186億93百万円（前年同期比3.1%増）に不動産事業

他14億92百万円（前年同期比3.4%増）を合わせ、1,201億86百万円（前年同期比3.1%増）となりました。

損益面におきましては、営業利益は29億56百万円（前年同期比1.8%増）、経常利益は27億40百万円（前年同期比3.4%増）となり、当期純利益は貸倒引当金繰入額4億95百万円等を特別損失に計上したことなどにより18億29百万円（前年同期比3.4%増）となりました。

## セグメント別概況

### ■建設事業

当社グループの受注高は、国内建設事業851億90百万円（前年同期比15.5%減）に海外建設事業225億61百万円（前年同期比8.2%減）を合わせ、1,077億51百万円（前年同期比14.0%減）となりました。

売上高は、国内建設事業984億4百万円（前年同期比12.8%増）に海外建

設事業202億88百万円（前年同期比27.4%減）を合わせ、1,186億93百万円（前年同期比3.1%増）となりました。また、営業利益は、22億25百万円（前年同期比1.7%増）となりました。

### ■不動産事業

賃貸事業を中心とする不動産事業の売上高は、14億50百万円（前年同期比

3.5%増）となり、営業利益は、7億20百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

### ■その他の事業

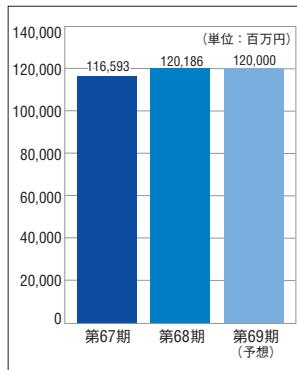
その他の事業については、売上高41百万円（前年同期比0.8%増）となり、営業利益は、10百万円（前年同期比18.8%減）となりました。

## 業績推移

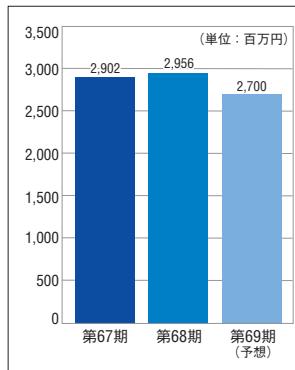
### ■連結受注高



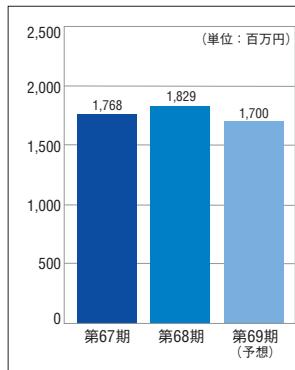
### ■連結売上高



### ■連結営業利益

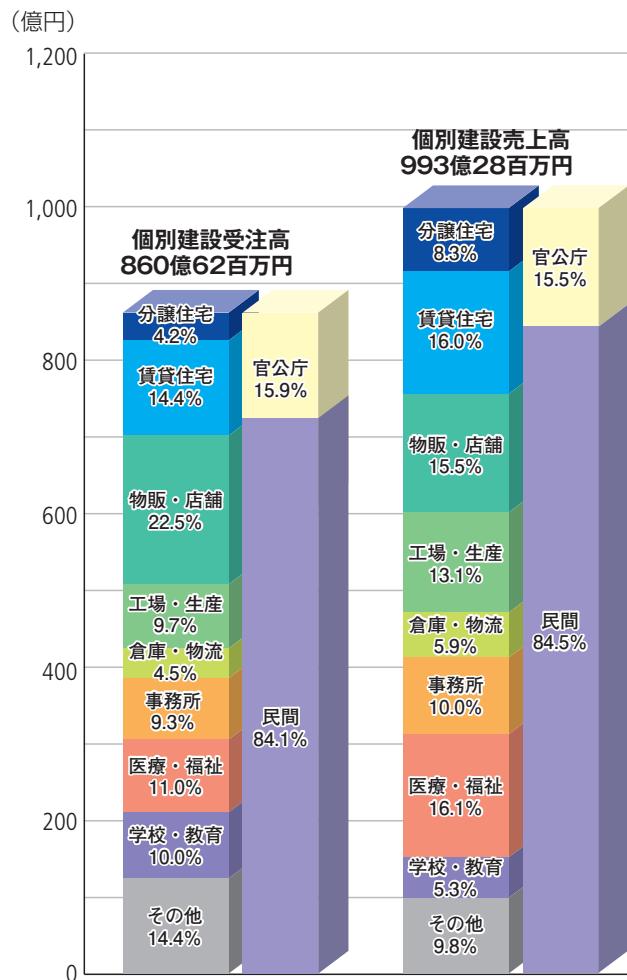
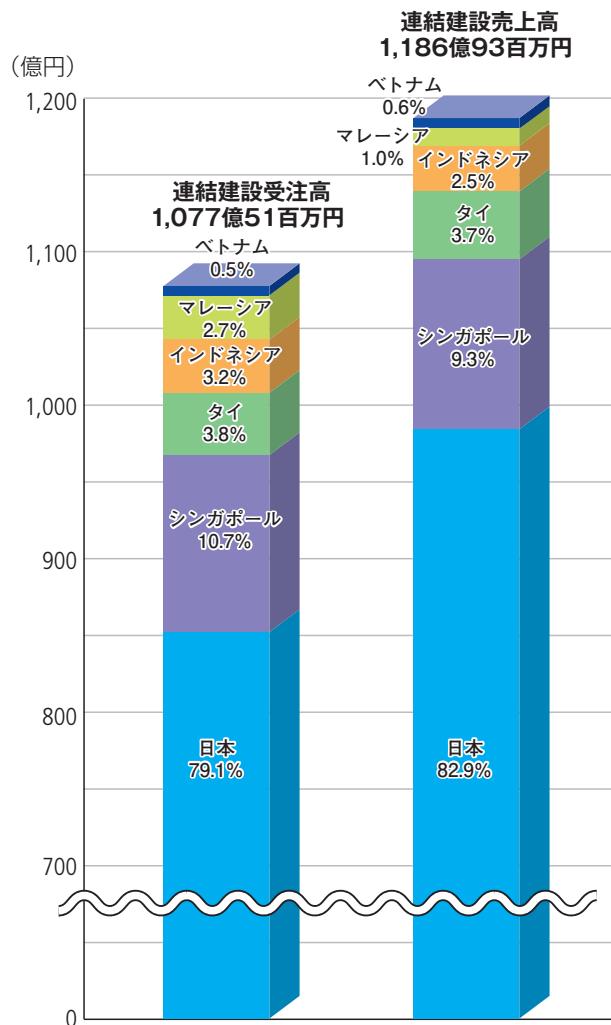


### ■連結当期純利益



# 建設事業概況

当事業年度における建設事業の内訳につきましては以下の通りであります。  
 多様な用途の施工実績を背景とした技術力の高さをご評価いただいております。



# 経営方針

## 会社の経営の基本方針

当社グループは、経営目標に「法令を順守し、品位ある企業を目指す」、「品質の確保に努め、顧客の信頼に応える」、「社業を健全にし、全ての向上を図る」を掲げ、法令を順守し、品質を確保して社業を発展させ社会に貢献する企業であることを経営の基本方針としております。

## 会社の対処すべき課題および中期経営計画の策定について

当社グループを取り巻く環境は、国内建設市場においては、更なる市場の縮小に伴う受注競争の激化や企業の淘汰が予想されます。一方、当社グループが進出しております東南アジア市場は、世界同時不況からいち早く脱却し、設備投資も順調に回復しつつあります。

このような状況の中、当社グループが業容を維持し、市場や社会から評価される企業として存続していくためには、より一層の受注力や技術力の強化とコストの節減などの自助努力を行うと共に、工事の安全管理の徹底や環境保全活動の推進を図ることにより、企業の社会的責任を果たしていくことが重要課題であると認識しております。この実現に向け、これまで培って参りました信頼と実績を背景に、国内建設事業と海外建設事業の両輪をもって、経営環境の変化に機敏に対応できる安定した収益基盤を構築し、強い競争力と体力のある企業となることに努めてまいります。

今後も厳しい経営環境が続くものと思われませんが、引き続き業績の向上に邁進し、内部留保の積み上げによる財務体質の強化や安定配当により、企業価値の向上を図り、「社業に係わる全ての人々の安心を創造する」企業を目指してまいります。

## 中期経営計画概要（平成22年4月～平成25年3月）

**国内、海外の両輪で安定した収益基盤を構築し、  
強い競争力と体力のある企業を目指す。**

### 基本方針

- ① 国内建設事業の競争力強化による安定した収益基盤の確立
- ② 海外建設事業の受注・施工・管理体制の強化
- ③ 有利子負債の削減による財務体質の強化
- ④ 内部留保の積み上げと安定配当による企業価値の向上
- ⑤ 社会的責任を果たす人材の育成

### 経営指標（平成25年3月期数値目標）

- ① 連結経常利益24億円以上、個別経常利益17億円以上
- ② 建設事業売上高1,100億円以上
- ③ 有利子負債50億円以下
- ④ 自己資本170億円以上
- ⑤ 配当6円の継続

# 連結決算概要

## 連結貸借対照表 (単位: 百万円)

項目	当期	前期
	(平成22年3月31日現在)	(平成21年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	51,059	60,339
固定資産	20,124	20,386
有形固定資産	16,072	16,261
無形固定資産	131	144
投資その他の資産	3,920	3,979
<b>資産合計</b>	<b>71,183</b>	<b>80,725</b>
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	52,764	62,858
固定負債	6,478	7,726
<b>負債合計</b>	<b>59,242</b>	<b>70,584</b>
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	13,195	11,572
資本金	5,061	5,061
資本剰余金	1,400	1,400
利益剰余金	6,759	5,136
自己株式	△26	△25
評価・換算差額等	△1,606	△1,758
その他有価証券評価差額金	193	37
為替換算調整勘定	△1,800	△1,795
少数株主持分	352	326
<b>純資産合計</b>	<b>11,941</b>	<b>10,140</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>71,183</b>	<b>80,725</b>

## 連結損益計算書 (単位: 百万円)

項目	当期	前期
	(自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	(自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)
売上高	120,186	116,593
完成工事高	118,693	115,150
不動産事業等売上高	1,492	1,443
売上原価	111,892	108,062
完成工事原価	111,293	107,521
不動産事業等売上原価	598	540
売上総利益	8,293	8,531
完成工事総利益	7,399	7,629
不動産事業等総利益	893	902
販売費及び一般管理費	5,337	5,628
<b>営業利益</b>	<b>2,956</b>	<b>2,902</b>
営業外収益	170	215
営業外費用	386	467
<b>経常利益</b>	<b>2,740</b>	<b>2,650</b>
特別利益	71	33
特別損失	637	660
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>2,174</b>	<b>2,023</b>
法人税、住民税及び事業税	249	327
過年度法人税等戻入額	—	△160
法人税等調整額	82	△63
少数株主利益	12	151
<b>当期純利益</b>	<b>1,829</b>	<b>1,768</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

項目	当期	前期
	(自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	(自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,468	△645
投資活動によるキャッシュ・フロー	73	93
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,058	1,568
現金及び現金同等物に係る換算差額	139	△338
現金及び現金同等物の増加額	1,623	678
現金及び現金同等物の期首残高	10,702	10,024
現金及び現金同等物の期末残高	12,326	10,702

## 連結株主資本等変動計算書 (単位: 百万円)

当期 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成21年3月31日残高	5,061	1,400	5,136	△25	11,572	37	△1,795	△1,758	326	10,140
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△206		△206					△206
当期純利益			1,829		1,829					1,829
自己株式の取得				△0	△0					△0
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						156	△4	151	26	178
連結会計年度中の変動額合計	—	—	1,623	△0	1,622	156	△4	151	26	1,800
平成22年3月31日残高	5,061	1,400	6,759	△26	13,195	193	△1,800	△1,606	352	11,941

(注1) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注2) 当期から「工事契約に関する会計基準」に基づき、該当工事について工事進行基準を適用しており、従来の方によった場合と比べ、当期に係る完成工事高は121億21百万円増加し、営業利益および経常利益はそれぞれ7億57百万円増加し、税金等調整前当期純利益は7億52百万円増加しております。

# 個別決算概要

## 貸借対照表 (単位：百万円)

項目	当期	前期
	(平成22年3月31日現在)	(平成21年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	40,143	50,629
固定資産	20,552	20,660
有形固定資産	14,069	14,126
無形固定資産	125	138
投資その他の資産	6,356	6,396
<b>資産合計</b>	<b>60,695</b>	<b>71,289</b>
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	44,968	55,887
固定負債	6,089	7,321
負債合計	51,057	63,209
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	9,475	8,064
資本金	5,061	5,061
資本剰余金	1,400	1,400
利益剰余金	3,040	1,628
自己株式	△26	△25
評価・換算差額等	162	15
その他有価証券評価差額金	162	15
純資産合計	9,637	8,080
<b>負債純資産合計</b>	<b>60,695</b>	<b>71,289</b>

## 損益計算書 (単位：百万円)

項目	当期	前期
	(自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)	(自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)
売上高	100,421	88,917
完成工事高	99,328	87,957
不動産事業売上高	1,093	959
売上原価	93,448	82,269
完成工事原価	92,942	81,821
不動産事業売上原価	506	447
売上総利益	6,972	6,647
完成工事総利益	6,385	6,135
不動産事業総利益	587	511
販売費及び一般管理費	4,670	4,877
<b>営業利益</b>	<b>2,302</b>	<b>1,769</b>
営業外収益	262	606
営業外費用	325	461
<b>経常利益</b>	<b>2,239</b>	<b>1,914</b>
特別利益	64	28
特別損失	642	616
<b>税引前当期純利益</b>	<b>1,661</b>	<b>1,326</b>
法人税、住民税及び事業税	32	40
法人税等調整額	11	△15
<b>当期純利益</b>	<b>1,617</b>	<b>1,300</b>

## 株主資本等変動計算書 (単位：百万円)

当期 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)

	株 主 資 本					評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計		
		資 本 準 備 金	そ の 他 利 益 剰 余 金 繰越利益剰余金				
平成21年3月31日残高	5,061	1,400	1,628	△25	8,064	15	8,080
事業年度中の変動額							
剰余金の配当			△206		△206		△206
当期純利益			1,617		1,617		1,617
自己株式の取得				△0	△0		△0
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額 (純額)						146	146
事業年度中の変動額合計	—	—	1,411	△0	1,410	146	1,557
平成22年3月31日残高	5,061	1,400	3,040	△26	9,475	162	9,637

(注1) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注2) 当期から「工事契約に関する会計基準」に基づき、該当工事について工事進行基準を適用しており、従来の方による場合と比べ、当期に係る完成工事高は121億21百万円増加し、営業利益および経常利益はそれぞれ7億57百万円増加し、税引前当期純利益は7億52百万円増加しております。

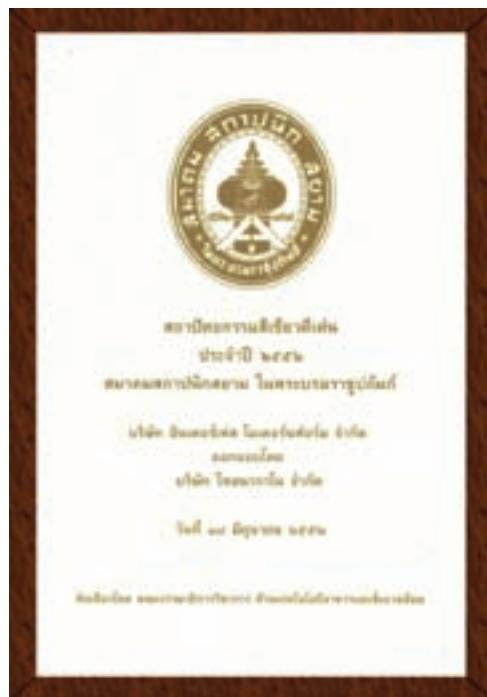
## トピックス 〈海外建設事業〉

### タイ王国において「2009優秀グリーン建築賞」を受賞！

昨年6月18日にタイ王国ロイヤルチットラダー宮殿において、シヤム建築家協会（タイ王室後援）主催の「2009優秀グリーン建築賞」の受賞式があり、当社グループ会社であるタイナカノ株式会社の設計施工物件であるインターフェース工場新築プロジェクトが同賞を受賞し、タイ王室王女のマハチャクリーシリントーン殿下より賞状が授与されました。

優秀グリーン建築賞とは、環境保全、エネルギーセービング、敷地内緑化について設計段階から考慮されたプロジェクトの中から優秀と認められたものに与えられる賞です。

今回表彰を受けたプロジェクトは、米国の環境対応評価システムである「LEED」の認定をタイ王国で初めて受けたプロジェクトでもあり高い評価をいただきました。



# トピックス 〈社会貢献活動〉

## チャリティーバザーの開催

東京本店では、「建築屋さんのチャリティーバザー」と銘打ち作業所近隣住民の皆様との交流を深めるため、当期計2回、チャリティーバザーを開催いたしました。

発注者様のご協力のもと、作業所内の広い敷地を活用し、当社と協力会社の方々と様々な店舗やイベントを催し、近隣住民の皆様楽しんでいただくことができました。また、今回のチャリティーバザーの収益金は全て地域の社会福祉法人へ寄付し、微力ながら地域社会への貢献とさせていただきます。

ナカノフドー建設では、今後も地域の皆様との交流を深めるため、様々なコミュニケーションの場を提供していきたいと考えております。



## 地域の安全・安心を守る消防活動

当社は、地域の皆様と協力し、安心して暮らせる地域社会づくりのため、様々な活動に参加しております。それらの活動の一環として、地域の消防体制を強化するため、千代田区の消防団に所属し、当社から7名の消防団員を派遣しております。

具体的には、夜間の町内パトロール、ポンプ車の操法訓練や操法大会への参加など年間を通し様々な活動に参加しており、地元企業としての社会的責任を果たすため日々努めております。これらの活動により当社は、東京消防庁から「消防団協力事業所」の指定を受けております。

また、長年の活動が認められ、平成21年11月に麴町消防署長より「感謝状」をいただくことができました。

今後も地域の安全・安心を守る企業として努力してまいります。



靖国神社でのポンプ操法大会開催の様子



# 施工実績紹介 (当期完成工事)

## 賃貸住宅



神谷1丁目マンション北棟、南棟 (東京都北区)  
構造: RC造  
規模: 地下1階/地上14階 (北棟)、地上12階 (南棟)  
延床面積: 11,054㎡

## 医療施設



枚方公済病院 (大阪府枚方市)  
構造: RC造  
規模: 地上4階  
延床面積: 13,980㎡

## 福祉施設



障害者福祉センター・御茶の水教会 (東京都千代田区)  
構造: S造  
規模: 1棟 地上8階  
延床面積: 2,871㎡

## 事務所



羽衣ビル (東京都千代田区)  
構造: S造  
規模: 地下2階/地上10階  
延床面積: 4,210㎡

## 工場・生産施設



プラスベトナム工場（ベトナム）  
構造：S造  
規模：1棟 地上1階（一部地上2階）  
延床面積：11,241㎡

## 工場・生産施設



シマノ工場（マレーシア）  
構造：RC造  
規模：1棟 地上2階  
延床面積：14,798㎡

## 倉庫・物流施設



スズケン 千葉物流センター（千葉県印西市）  
構造：S造  
規模：2棟 地上2階  
延床面積：11,226㎡

## リニューアル



アルメニアンストリート歴史的建造物保存改修（シンガポール）  
構造：RC造  
規模：地上6階  
延床面積：6,123㎡

# 受注実績紹介

## NHK 新千葉放送会館



千葉県の文化・産業・暮らしの情報を発信し、  
安心・安全で豊かな地域づくりに貢献する放送局

発注者 日本放送協会  
竣工 平成23年5月予定  
構造 RC造（基礎免震構造）  
規模 地上3階  
延床面積 5,264㎡  
場所 千葉県千葉市

## ニッポー株式会社 大利根工場



「無駄が無く合理的で環境にやさしい建物」を  
コンセプトとしたメディカルプラスチック製造工場

発注者 ニッポー株式会社  
竣工 平成23年4月予定  
構造 S造  
規模 地上2階  
延床面積 19,368㎡  
場所 埼玉県加須市

## チャンギービジネスパーク（ショッピングセンター）



シンガポール第二のビジネスパークとして、物流センター、航空貨物管理業、ハイテク製造業を誘致対象とした開発事業の一環として建設されるショッピングセンター

発注者 アセンダスJVフレイザーズセンターポイント  
竣工 平成23年6月予定  
構造 RC造  
規模 地下1階／地上3階  
延床面積 65,000㎡  
場所 シンガポール

## ル・リセ フランスインターナショナルスクール



バンコク都内在住のフランス系住民子弟の就学環境やフランス系コミュニティーに貢献する施設整備事業

発注者 ル・リセ フランスインターナショナルスクール  
竣工 平成22年7月予定  
構造 RC造  
規模 地上4階  
延床面積 3,428㎡  
場所 タイ

# 会社概要

(平成22年6月29日現在)

商号	株式会社ナカノフド-建設
創業	昭和8年2月8日
設立	昭和17年12月19日
資本金	50億6,167万8,686円
従業員数	1,129名(連結) 814名(個別)(平成22年3月31日現在)
主要な事業内容	当社グループは、建設事業および不動産事業を主な内容として事業活動を展開しております。国内および東南アジアでは総合建設業を、北米では不動産事業を主として営んでおります。

## 主要な事業所

### 国内

本店	(東京都千代田区九段北四丁目2番28号)
東京本店	(東京都千代田区)
東北支社	(仙台市)
名古屋支社	(名古屋市)
大阪支社	(大阪市)
九州支社	(福岡市)
土木支店	(東京都千代田区)
北海道支店	(札幌市)
東関東支店	(千葉市)
北関東支店	(さいたま市)
横浜支店	(横浜市)
茨城支店	(土浦市)
台東支店	(東京都台東区)
北東北支店	(八戸市)

### 海外

ハノイ駐在員事務所	(ベトナム)
ホーチミン駐在員事務所	(ベトナム)

## 主要な子会社

### 会社名

### 事業内容

#### 国内

中野開発株式会社(尼崎市)	不動産事業・その他の事業
---------------	--------------

#### 海外

ナカノシンガポール(PTE.)LTD.(シンガポール)	建設事業
ナカノインターナショナルCORP.(アメリカ)	不動産事業
PT.インドナカノ(インドネシア)	建設事業
タイナカノCO.,LTD.(タイ)	建設事業
ナカノコンストラクションSDN.BHD.(マレーシア)	建設事業

## 取締役および監査役

取締役名譽会長	大島 義和
代表取締役社長	浅井 晶
取締役	笹 裕
取締役	迫 宗和
取締役	中野 功一郎
取締役	黒河 利秀
取締役	安広 誠
常勤監査役(社外)	河野 勝
常勤監査役	渡邊 唯好
監査役	杉本 博嗣
監査役(社外)	佐藤 俊一

## 執行役員

取締役 専務執行役員	笹 裕 (海外事業本部長 経営企画部・業務監査部 管掌)
取締役 専務執行役員	迫 宗和 (国内建設事業本部長兼東京本店長)
取締役 常務執行役員	中野 功一郎 (経理部担当)
取締役 常務執行役員	黒河 利秀 (経営企画部・業務監査部・総務部 担当)
取締役 常務執行役員	安広 誠 (海外事業本部副本部長兼海外事業本部建設部長)
専務執行役員	望月 藤一 (国内建設事業本部事業統轄部長)
専務執行役員	山下 登志治 (大阪支社長)
常務執行役員	川口 法男 (ナカノシンガポール(PTE.)LTD.社長)
執行役員	荒木 克洋 (東京本店副本部長)
執行役員	奥山 晶市 (東京本店副本部長)
執行役員	竹谷 紀之 (東京本店副本部長兼東京本店リニューアル統轄部長)
執行役員	服部 智 (タイナカノCO.,LTD.社長)
執行役員	廣瀬 泰雄 (大阪支社副支社長兼大阪支社安全品質環境室長)
執行役員	下沖 洋一郎 (名古屋支社長)
執行役員	山田 博 (大阪支社営業統轄部長)
執行役員	杉浦 優 (ナカノコンストラクションSDN.BHD.社長)
執行役員	菅谷 昭彦 (国内建設事業本部事業統轄部副部長)

# 株式状況 (平成22年3月31日現在)

## 株式状況

■発行可能株式総数	154,792,300株
■発行済株式の総数	34,498,097株
■株主数	4,639名

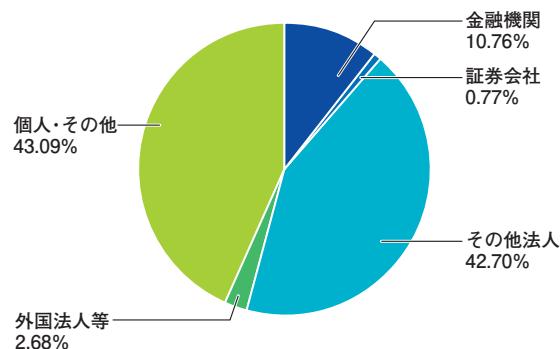
### ■大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
財団法人大島育英会	6,756	19.64
関東興業株式会社	3,600	10.47
大島 義和	3,074	8.94
株式会社マリンドリーム	2,000	5.81
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,647	4.79
株式会社MBサービス	1,200	3.49
有田 信子	1,170	3.40
ナカノ従業員持株会	946	2.75
ナカノ友愛会投資会	660	1.92
株式会社損害保険ジャパン	442	1.29

(注) 持株比率は、自己株式(103,345株)を控除して計算しております。

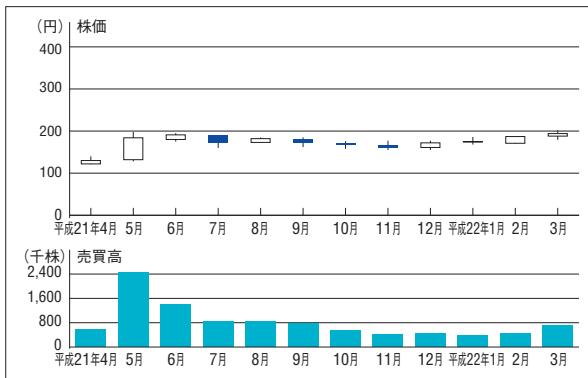
## 株式分布状況

### 所有者別分布状況



株式数	株数
金融機関	3,713千株
証券会社	263千株
その他法人	14,731千株
外国法人等	922千株
個人・その他	14,866千株

## 株価推移



## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月下旬
- 基準日 毎年3月31日  
そのほか必要がある場合には、あらかじめ公告いたします。
- 単元株式数 500株
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関  
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
(連絡先) 〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-232-711(通話料無料)
- 公告方法 日本経済新聞に掲載いたします。

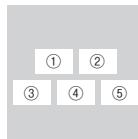
※株券電子化後の各種お手続きに関するご注意

- (1) 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）にて承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いができませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

<表紙写真>

- ① 神谷1丁目マンション北棟、南棟（東京都北区）
- ② プラスベトナム工場（ベトナム）
- ③ 株式会社日本デキシー真岡工場（栃木県真岡市）
- ④ アルメニアストリート歴史的建造物（シンガポール）
- ⑤ 日本庄着端子製造株式会社東京技術センターB棟（神奈川県横浜市）

<表紙写真レイアウト>



## 株式会社 ナカノフード建設

本店 〒102-0073 東京都千代田区九段北四丁目2番28号  
TEL 03(3265)4661  
ホームページ <http://www.wave-nakano.co.jp>



本報告書は再生紙を使用し、大豆油インクで印刷しております。ご不要の際は、ハリをはずし資源ゴミへ。